

◆企画名	教えて先輩！関大何でも Q&A（新入生対象学生相談）
日程	平成 23 年 4 月 2 日（土）、4 月 4 日（月）
場所	総合学生会館凜風館 1 階
参加者数	54 名
目的	

新入生にとって大学生活の始まりは、期待と不安が入り混じったものである。環境が変わるという事は多くの「初めて」と出会うことであり、同じ学生の目線に立った先輩からの親身なアドバイスが必要である。

本企画では新入生を対象に、新しく始まる大学生活における不安を解消してもらうために KU サポーターズが適切なアドバイスを行うことを目的とする。

内 容

新入生歓迎オリエンテーション期間中に新入生を対象とした相談ブースを設置し、当コミュニティのメンバーが新入生からの質問を受け付け、対応した。また、ブースに来た新入生には当コミュニティが開室する「ほっこり相談室」の案内が書かれたビラを配付することで、広報活動も行った。

ブースでは新入生が抱えるこれからの大学生活に関する不安や疑問などに答え、施設の場所が分からないといった新入生が来た場合はメンバーが施設の場所まで同行した。

また、当コミュニティのメンバーでは回答する事ができないと判断した質問（例えば、履修相談）に関しては、専門の学内施設を紹介する事で対応した。

4 月 2 日（土）には 24 人、4 月 4 日（月）には 30 人からの質問を受け付けた。主な相談内容は施設の場所が分からないといった大学内の施設関連であった。

感 想

「ほっこり相談室」での相談は室内である事から、新入生にとっては入りづらい印象を与えるかもしれない。それに対して本企画では屋外にブースを設置する事で、新入生にとって立ち寄りやすい場所になったと思われる。気軽に利用してもらえ環境下での相談受け付けは利用者も多く、メンバーの相談員としてのモチベーションの向上につながった。

本企画を通して新入生における KU サポーターズの認知度が向上すれば、今後の企画の盛況にも繋がるのではないかと考えられる。

改善点

2 日間の活動を通して、2 日目の方が 1 日目よりも利用者数が多かったという事から、今後新入生オリエンテーション期間に本企画を行う際には 2 日目以降によりブースで待機するメンバーを増員し、余裕を持って新入生に対応する事が必要である、と感じた。ブース待機のシフトを均等に割り振ることができず、同じメンバーが長時間ブースに待機していた事もあり、参加メンバーが少なかった事は改善すべき問題である。今後は他コミュニティからも人員を募集し、参加メンバーを増やすことも検討していく。

また、施設や機関についての御質問が多かったので、当コミュニティのメンバーが関大の施設・機関に関する知識を十分持つておくべきであったと感じた。予想される質問に関しては事前に回答を準備しておき、スムーズに対応できるようにするといった、事前の準備段階においての工夫も必要である。

また、企画自体もブースを設置して新入生が来るのを待つ、という受け身的なものであった。こちらからも積極的に呼び込みをするなど、今後は積極的な姿勢で企画に臨む様にしていきたい。